

ひまわり 議会だより

No.40
2020.1.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会

モビリティは「身の丈の器で生きる」
(坂本孝輔さん未掲載)

令和元年度補正予算・P3 一般質問・P4～P6
意見交換会・P6～P7 表紙紹介・P9 八戸小学校を囲む会・P10

議長あいさつ



議長 甲斐徳仁

として初めての正月を迎えた本年が、町民各位にとって良い年になる事を祈念いたします。

さて、昨年4月の統一地方選挙においては、20年ぶりに本町から県議会議員が誕生いたしました。西白杵地域の課題を共有しながら、本町をはじめとした中山間地域の発展に期待するものであります。

また、11月にグランドオープンしました道の駅「青雲橋」は、高速道路の開通も相まって集客が予想を上回り、名実ともに本町観光のプラットフォームとなりつつあります。12月6日には、新庁舎新築工事の起工式が実施され、本格的に庁舎建設が始まり、令和3年1月末までには新庁舎が建設され、町の防災拠点施設として、またシンボルとして大きな役割を担うこととなります。安全第一で工期内完成を

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町議会を代表しまして、ご挨拶いたします。

町民の皆様におかれましては、穏やかに新春をお迎えのことと存じます。昨年は新しい元号となり、天皇が即位された歴史的な節目の年となりました。令和

切望いたします。

議会においては、議会基本条例を設置後、初の議会報告会を、議場と町民センターで開催し、更に昨年は、4公民館と8団体、延べ200名を越す方々と意見交換を実施したところであります。本年も各公民館や各種団体との意見交換会に積極的に取り組みますので、ご協力を重ねてお願いいたします。

議会は、二元代表制の住民代表で組織される、町の最終意思決定の機関であります。町民の声を反映することが、最大の目的でもあることから、更に議会も努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

結びに、町政発展と皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

■特別委員会の設置

【目的】

西白杵の三町公立病院については、地域医療構想の広域連携と企業経営の観点から現状は極めて厳しい状況にある。

今後、西白杵地域の医療や役割の明確化等を多角度から検証し、実情に対応するために、各町の第4回本定例会において、それぞれ特別委員会を設置するものである。

- ◎ 委員長 工藤 英信 議員
- 副委員長 小川 輝久 議員

■教育委員会委員決まる

【同意一件】

・日之影町教育委員会委員の任命
森山浩一氏(大山)の任命に同意

【任期】

令和2年1月1日～令和5年12月31日



12月定例議会

令和元年度第4回定例会は、12月3日に開会し、同意1件、議案15件を原案の通り可決した。一般質問には5名が登壇し、町長・教育長に質問、12日に閉会した。

令和元年度 一般会計補正予算

補正総額 1億2912万円 補正後総額 58億8520万円

歳出の主なもの

■ 総務費

562万円追加

(住宅新築・リフォーム定住促進事業補助金等)

■ 農林水産業費

5100万円追加

(未来につなぐ中山間地域農業支援補助金・林道舗装事業等)

■ 商工費

458万円追加

(道の駅営業補償費等)

■ 消防費

675万円追加

(国土強靱化地域計画策定委託料等)

■ 災害復旧費

4260万円追加

(農地災害復旧等)

臨時職員等は会計年度任用職員に移行

連合審査報告書

総務文教常任委員会

会計年度任用職員 制度創設

今回、国の改正で、従来の臨時職員等を、「会計年度任用職員」として雇用する制度である。従来の非正規職員にはなかった期末手当の支給や人事評価が導入される。

労働条件面では、正規職員と同等の公務上の義務及び服務等が適用されることとなる。職場環境に心がけ、人事配置や適用性を考慮し、経費削減に努める等、町民の財政負担が大きくなるなど、いよう一考すべきである。

経済建設常任委員会

新たに町道路線の 認定

椎谷集落内に位置し、町道「長迫椎谷線」と町道「椎谷末市線」を結ぶ延長180メートルの「椎谷道



《椎谷道下線》

下線」は、以前より農道として利用されているが、生道路路としての利用が高く、地域住民にとって重要な道路となっている。

関係地権者からの同意もあることから、将来を見据えて有利な制度事業を取り入れ早急な改良が望まれる。起点側の入口付近については、国道から(しいの実保育園)の進入等について協議、検証を一考することも必要と思われる。

一般質問は、議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

インターネット等での発信は？

町長 全国からの公募による民間への譲渡も検討



工藤 英信
議員

問 閉校する八戸小学校施設等の有効利用について

町長 八戸地区活性化協議会の「総務部会」が中心となり、八戸地区の活性化や地域振興に資する有効活用について検討してもらい、また、全国からの公募による民間への譲渡や有効活用の提案なども検討する。

問 町内の小学校の連携、小中学校の連携を推進しているが、小学校3校による運動会はできないか

教育長 徒競走やリレーなどは可能だが、団技やダンスなど3校で統一して行うものは、労力、時間が必要であり、他の授業にも影響を及ぼすことが懸念される。また、現在行われている地域の特

色ある種目ができなくなる可能性があることから実施は大変難しい。

問 町内26カ所にサロンがあるが、サロンへの送迎を行う「サロンサポート事業」ができないか

町長 利用者が少ないサロン会場については、利用者の意向を聞きながら、会場の広域化や足の確保を含め、関係機関と協議する。



《追川集落サロン会場の皆さん》

お化け屋敷トンネルとしての有効活用はできないか？

町長 アイデアを伺い検討していく



河野 學
議員

問 旧高千穂鉄道日之影トンネルの有効活用利用について夏はお化け屋敷、冬はイルミネーションとして、子ども達に楽しんでもらう活用はできないか？

町長 中央地区活性化協議会におきましても、新たな景観となり、トンネルや日之影橋梁の活用についての意見も出たところである。今後、様々な分野においてアイデアを伺い、活用の検討を進めていきたい。

教育長 町の遺産として、子ども達に伝えていくことは、大変重要なことと認識しており、先人がこれまで苦労して築いてきた貴重な歴史的価値のある遺産として、学ばせたい。

問 河川の有効活用の観点から、豊富な水を利用したキャンプ村から役場下までのイベント等を開催する考えはないか

町長 河川の状態を考慮すると、ゴムボートやキャニオニングなどの急流を活かしたアクティビティが考えらる。まずは、河川管理や漁業組合、観光協会やNPO法人を初めとした関係機関との協議や日之影の川に合った、より実効性のあるアクティビティの研究を行いたいと考えている。



《旧高千穂鉄道日之影川橋梁》

長期総合計画前期5年間の評価は

町長 一四三施策の全体評価は71・2点



小谷 幸治 議員

問 前期基本計画の評価をについて

町長 達成度別の高い施策項目は、子育て支援、学校教育、消防・防災対策、農林業の振興、概ね達成している項目は参画と協働、上下水道整備、健康づくり、景観の形成である。

問 後期基本計画の目指す方向について

町長 計画の3つの理念である、自然と生きるまち、人と生きるまち、住民が誇れるまちと、町の将来像である、「住む喜びを実感し笑顔あふれる光あすまち日之影」に向け努力する。

問 後期基本計画と地域創生総合戦略との関係性について

町長 長期総合計画は、本町の最上位の計画に位置付けられている。本町の行財政の指針としての役割があり、国の総合戦略の趣旨を踏まえ、施策の整合性を図りながら、全職員で構成する まち、ひと、しごと、くらしの、4つの部会を設置し推進を図っていく。



《町内花卉生産者による花の展示》

各教育機関との更なる連携を

教育長 新学習指導要領に対応した教育支援及び連携を行う



高館 英嗣 議員

問 令和2年度より新しくなる学習指導要領に対する本町の取り組みについて

教育長 これまで行ってきた効果のあった指導方法は継続しつつ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の改善、国際化社会に対応できる人材育成を目的とした外国語教育の充実を図っていく。また、小学校のプログラミング教育については講師を招き、教職員を対象とした研修を行い、スムーズに実施していくようにする。中学校に関しては、本年度「授業づくり研修会」で新学習指導要領を見据えた実践的な研修を行った。小中両方に共通する「主体的・対話的で深い学び」については、各学校で研究テーマを設定し、日々授業改善に努めてもらっている。

その結果、子どもたちが主体的に考え、自分の考えを伝え合う様子が見られるようになってきている。

問 幼保・小・中教育の連携を踏まえた今後の対応について

教育長 保・小連携に関しては、ある小学校では1、2年生が生活科で作成したおもちゃを用い、保育園児と一緒に遊ぶ活動を行った。逆に、小学生が保育園へ行く交流活動も行っている。さらに、中学校のオープンスクールでは、中学生が案内し交流を深める取組を行った。今後、各部会や研修会の更なる充実や連携のあり方を検討するため、本年度「町小・中学校連携推進協議会」を立ち上げた。その中の一つに「キャリア教育の視点に基づいた「日之影町立小・中学校キャリア教育推進プラン」があり、現在策定中である。保育園との連携においても、今後様々な事例を参考にし、子どもたちの成長に繋げられるような取組を行っていきたいと考えている。

新年度予算編成は

町長 柔軟な発想で質の高い予算編成



甲斐 陸彦 議員

問 依存財源が大きく、限られた予算の中で、来年度は第五次総合計画の後半に入る。併せて大型投資事業も含めた予算編成の考えは

町長 厳しい財政運営が予想される。経費削減と選択と集中による事業選定により質の高い予算編成を行う。第二期総合戦略では、各分野施策が相乗的な効果による持続可能な町づくりを推進していく。

問 過去の一般質問の検証を

- ①ペーパーレス議事導入について関係者のスキル・人件費の削減・効果を検証されたか
- ②ふるさと納税の活用が見えない。返礼品開発の状況は
- ③免許返納者の支援拡充は



《ふるさと納税の思いが詰まった返礼品》

町長 ①ICT化による業務は進めているが、ペーパーレス議事の導入による人件費や印刷コストの削減効果は少ないと考えているが、事務の効率化、経営削減のため検証していく。
②ふるさと納税の活用については受領証明書を送付する際に、活用実績写真入りの礼状を添付する。返礼品開発は特産品の掘り起こしと共に先進地を参考に創意工夫に努める。
③免許返納者支援拡充については近隣の町より手厚い実情である。今後は地域実情に即した交通弱者に対する総合的な対策を図る。

意見交換会



《モーモーマーちゃんから活発な意見》

■日之影町肉用牛振興会
女性部との意見交換会

女性の視点から

見えてくる町議会

〔日時〕

令和元年9月25日19時より

〔場所〕

保健センター会議室

(出席者16名)

議長及び振興会女性部長のあいさつの後、議会活動状況報告があり、フリートークで交換会を行った。

J・A日之影支所長、畜産指導員同席のもと、畜産経営の問題点が見えられた。繁殖牛の増頭も堆肥処理の壁にあたり、思うように進まない現状や、高齢化による先々の不安、人手不足の問題解消に向け、アグリファームとの連携は出来ないのか等、意見が多数出された。

その他に

- ・後継者不足による、子供数の減少問題
 - ・宮崎部品跡地利用について
 - ・リハビリに温泉駅を利用できないか
 - ・温泉駅で電気治療は出来ないか
 - ・U・Jターンして来た人達の住宅の確保
 - ・意欲ある意見交換会となった。議会としても、問題解決に向け努めてまいります。
- ありがとうございました。

■竹の原公民館

集落水道施設の整備を

【日時】

令和元年10月23日(水)午後7時～

【場所】

竹の原公民館(出席者24名)

今回は、集落常会後の時間を利用して意見交換を行った。集落単独の意見交換会は、初めてでしたが、距離間が近く、生活の身近な意見が出てアットホームな交換会となった。

【主な内容】

- ・人口減少に伴う集落形成の問題について
- ・集落飲料水のにごり対策について
- ・町営住宅の営繕について
- ・農業従事者の高齢化問題について
- ・集落内町道の改良について
- ・明石林道(町道日之影水無平線)の整備について
- ・道の駅の入口と販売手数料について

他、新庁舎建設等充実した内容の意見交換会となった。後日飲料水と明石林道の整備について、調査を行いました。貴重なご意見ありがとうございました。



《竹の原公民館》

■見立下組公民館

大型トレーラーラックの離合対策を

【日時】

令和元年10月27日(日)午後3時～

【場所】

下組公民館(出席者4名)

下組公民館は、戸の口、白仁田、諸和久の三集落で形成され、世帯数20戸の公民館である。今回は、4名の出席者であったが、内容と充実感のある意見交換会となった。

【主な内容】

- ・請願と陳情の違いと方法
- ・プレミアム商品券の発行問題
- ・奥道日之影・宇目線の大型トレーラーラックの離合問題
- ・戸川・白仁田林道の早期事業完成

・飲料水道の整備等の要望があった。その他、各議員の基本施策を聞かれ、議会に対する関心の高さも強く感じた。議会としてもできることから対応してまいります。ありがとうございました。



《下組公民館》

■小・中学校長会

学校現場の貴重な意見

【日時】

令和元年11月28日(木)午後3時～

【場所】

日之影中央研修館(出席者5名)

今回、初めての企画で学校長との意見交換会を行なった。現在の児童生徒数は、宮水小(71名)、八戸小

(17名)高巢野小(43名)、日之影小(32名)日之影中(89名)である。八戸小は、来年3月に閉校、4月には宮水小に統合されることが決まっている。

【主な内容】

- ・ICT授業の現状について
 - ・プログラミング学習について
 - ・複式学級の現状について
 - ・校舎の営繕について
 - ・体力テストの現状と体力づくりについて
 - ・宮水小・八戸小の統合について
 - ・八戸小のダルマづくりとみどりの少年団存続について
- 等の現状を聞くことができた。学校教育は、デリケートな問題、課題もあり、先生たちのご苦勞も感じました。ありがとうございました。



《町校長会》

常任委員会所管事務調査報告書

■総務・文教常任委員会

〔期 日〕

令和元年11月1日(金)

〔場 所〕

1、八戸小学校

2、「デイサービスあくた高千穂店」

〔調査事項〕

1、八戸小学校の統廃合に向けた取り組みについて

八戸小学校は、児童数17名(男8名・女9名)で、家庭・地域と密着した教育活動を展開しております。現在、学校統合に関して八戸地区活性化協議会が発足し、来年3月の閉校式に向け話し合いが進められ、統合後の不安解消に努めている。

保護者及び児童については特に不安は無いようだが、スクールバスの増車の検討も必要である。また、緑の少年団の存続については活動を残す方向で宮水小学校との協議もなされているようだが、歴史ある重要な活動であるので、引き続き残すことが肝要である。学校跡地の有効利用については、ホームページ等で全国に発信し有効利用促進を図るべきと考える。

2、「デイサービス」の現状と課題について

今回調査を行った「デイサービスあくた」は、平成23年に事業を



《砂利を使った歩行訓練施設》

開始、利用定員は18名(日之影町の利用者は8名)、職員は6名(内パート2名)で、営業日は、月曜日(金曜日、半日型(午前・午後)と一日型サービスを提供している。当デイサービスの特徴は、体操やストレッチ、歩行訓練等、機能回復訓練がメインのデイサービスである。昼食は外食弁当で対応され、それを利用者さんに応じて調理し直して提供されていた。

課題については、道路の狭い遠隔地の送迎や職員の人材確保が大きな課題であると思われる。

■経済建設常任委員会

1、和牛のオーナー制度を調査

〔期 日〕

令和元年10月11日(金)

〔場 所〕

綾町肉用牛総合支援センター
(肉用牛サポートセンター)

〔調査事項〕

綾町の飼育農家戸数は67戸と減少傾向にあるが、飼育頭数は1057頭に増えている。サポートセンターの事業は、子牛、育成母牛、不妊牛等の委託事業である。中でも不妊牛委託では、年間四十頭近く出る不妊牛の80%がこの施設に預けることによりストレス解消、日光浴、運動等により回復している。また、オーナー制度を設置し、牛の持ち主の負担は一切なく、子牛販売時に配当がある。本町でも施設の設置と管理者育成をする必要があると感じた。

2、水源地の早期整備を

〔期 日〕

〔場 所〕

竹の原集落水道施設

町道日之影水無平線(上日之影) 赤石間)

〔調査事項〕

小規模水道施設及び町道の現状と課題について

①竹の原集落水道施設

大雨時に水が濁ることから、地元立会いの中、水源地を中心に調査を行った。受水槽は老朽化し、配水管の一部は谷を横断し、増水時には破損の恐れがある。今後、上部の砂防堰堤から取水する計画もあり衛生的で安定した水源の確保が期待される。また、上部を通る林道の側溝からの流入が予想されるため、側溝のメンテナンスが必要である。

②町道日之影水無平線(上日之影) 赤石間)

上日之影から赤石間については、幅員が狭く、一部に山側の岩や路肩が下がっているところもあり、通行の障害となっている。森林セラピーのウオーキングコースでもあり県道日之影宇目線の迂回路としての役割もあることから、早急の整備が必要である。

■ 表紙紹介 ■

今回は、坂本孝輔さん（79歳）ミスズさん（80歳）を紹介します。

Q 1 長年、民生委員をされてこられました。お仕事の内容をお伺いします。

坂本さん

高齢者の方々の見守りや青少年の健全育成などについて相談にのり、行政との『つなぎ役』となる仕事です。

Q 2

保護士を20年、民生委員児童委員協議会の会長を12年務めてこられました。その中でも大変だったことはありますか。

坂本さん

当然のことではありますが、いろいろな方からの相談を受けるので、守秘義務を遂行する事です。

Q 3

地域福祉の第一線で様々な活動を行われてましたが、どんな事に気をつけていましたか。

坂本さん

例えば、高齢者が一人で孤立しないように、サロンへ行けるように声かけを行ったり、悪徳商法につかまらないように注意をしたりしていました。そして、何か少しでも気になる事があれば相談してくださいと話していました。

Q 4

人手不足が様々な業界で叫ばれていますが、民生委員はどうですか。

坂本さん

日之影町ではなんとか充足されていますが、県内で見ると、なり手不足が深刻化しています。

Q 5

いろいろな方の相談を受けられるということですが、奥さんは大変なことはなかったですか。

坂本さん

私が不在の時など帰ってくるまでの間、相談者やお客さんとしっかり対話をしてくれ、私をサポートしてくれていました。

Q 6

奥さんも同じ想いで行動してくれていたんですね。

坂本さん

はい、妻の理解や、内助の功には非常に感謝しています。夫婦で民生委員をしている気持ちで務めてきました。

Q 7

最後に一言おねがいします。

坂本さん

これまで様々な事に携わり、『身の丈の器で生きる』を信念に、出来ることを粛々として行ってきました。今後とも健全な地域社会づくりを目指して、夫婦で協力しながら頑張っていきます。



議会傍聴のご案内

12月の定例会には、町内の小中学校の児童生徒合わせて65名の方に傍聴いただきました。次回の定例会は3月です。皆様の傍聴をお待ちしております。

また、議会に対するご意見等お聞かせください。

【お問い合わせ】

議会事務局 TEL87-3908



八戸小学校を囲む会

令和元年11月17日(日)に八戸小学校体育館にて、八戸地区地域活性化協議会主催により、「八戸小学校を囲む会」が開催されました。PTA学校関係者他、たくさんのお出向のもと盛会に行われました。



編集後記

明けましておめでとう
ございます。議会広報誌
の編集に携わり1年が経
過しました。限られた紙
面を活かし、議会活動や
地域の出来事を、わかり
やすく掲載するように努
めてきました。様々な人
物や風景を撮影し、掲載
しきれないものもあり
ます。今後、写真の広
報の仕方も研究してい
きたいと思っています。

本年も、議会活動や地
域の事をより伝えられ
るように、新たな取り組
みも検証しながら発行し
ていきます。

高館 英嗣

発行責任者

議長 甲斐徳仁

議会報編集委員

委員長 一水輝明

副委員長 高館英嗣

委員 工藤英信

委員 小谷幸治

委員 小川輝久